

芝生の雑草

広くもないわが家の庭は芝生にしてある。裸地だと風が少し強いと砂ぼこりして家の中がザラつき気持が悪いからである。芝生は最初の投資の少いに反し維持費が大変だと承知していたが、雑草退治は聞きしに勝るものである。草取りは家族労働で行うので現金支出はないが、休日特に5月の連休はこれに当てることが多い。

芝を張った翌年からの2年間はハマスゲにかかりきりだった。その甲斐あってハマスゲが姿を消すとカタバミとチドメグサが目立って増えた。カタバミは根が驚くほど太く長いので深く掘返す。チドメグサは茎が軟かく切れ易いので周囲を広く掘取る。そのために芝生には禿が数多くできてみっともない姿になってしまう。それでも悪草を根絶した征服感で安心するのはつかの間にすぎない。驚くべきことに根こそぎ除草した筈の芝生の禿の部分に、どこから来るのか悪草が却って多く発生する。

考えてみるとギッシリ生えた芝生は雑草防除の役を果たしているらしい。雑草が芝生に蔓るのは芝の生育がわるいため、芝の生えのよくない所が雑草繁殖の場に狙われるのである。これは牧草地の雑草にも当てはまると思う。欧州で雑草が少いのは気候のせいもあるが、ひとつには都会では芝生の手入れがよく、田園では草地管理が行届いて、云わば国をあげて雑草防除に努めているためと思える。

(日本植物調節剤研究協会会長 戸畑義次)

目次

(第9巻第2号)

林地における雑草防除	2
<林業試験場 眞部辰夫>	
まえがき	2
1. 除草剤の考え方	2
(1) 国有林と民有林の違い	2
(2) 技術的な困難性	3
(3) 雑草防除の考え方	4
2. 主要雑草の防除上の問題点	4
(1) ササ	4
(2) ススキ	5
(3) クズ	5
(4) かん木	6
おわりに	6

昭和49年度春夏作芝生関係除草剤

・生育調節剤試験成績概要	6
--------------------	---

<財団法人日本植物調節剤研究協会>

昭和49年度桑園関係除草剤・生育

調節剤試験成績概要	13
-----------------	----

<財団法人日本植物調節剤研究協会>

昭和49年度茶園関係除草剤・生育

調節剤試験成績概要	16
-----------------	----

<財団法人日本植物調節剤研究協会>

昭和49年度林業関係除草剤・生育

調節剤試験成績概要	17
-----------------	----

<財団法人日本植物調節剤研究協会>